



～搾乳牛飼養農家の方へご連絡～

牛ウイルス性下痢（BVD）バルク乳検査のお知らせ

牛ウイルス性下痢（BVD）の清浄化のため、令和6年度のバルク乳検査を実施します。

実施時期： 令和6年8月頃

検査料金： 無料

申込方法： 所属する生乳出荷組合へ希望の有無を連絡 ※

※ 検査希望のとりまとめは、各生乳出荷組合（各酪農農業協同組合、各農業協同組合）が行います。希望の有無を生乳出荷組合に回答してください。（【参考様式】「バルク乳検査希望調査」を利用する場合は用紙を提出）

検査実施の流れ

各生乳出荷組合へ検査申請

生乳出荷組合から家保へ
まとめて申請

家保から
採材日
採材方法
のお知らせ

採材

検査

各生乳出荷組合に結果報告

※ 採材方法は出荷CSによって異なります。
※ 希望農場には、検査日・採材方法を改めてお知らせします。

- ・ バルク乳検査は搾乳している牛のみのスクリーニング検査です。乾乳牛や育成牛の検査はできません。期間を空けて2回の検査を行うことがスクリーニング検査としては望ましいです。
- ・ バルク乳検査の対象とならない牛（乾乳牛や育成牛及び子牛）についてBVD検査を希望する場合は、北部家畜保健衛生所までご相談ください。（個体検査は有料です。）
- ・ 本検査以外に検査を希望する場合、検査機関は下記のとおりです（有料）。

□ 民間検査会社（日本動物特殊診断（株）、（株）家畜健康管理HALC、全農クリニックセンター 他）

□ 家畜保健衛生所 検査結果判明まで1～2週間程度要する場合があります。

※裏面・別紙もご確認ください

北部家畜保健衛生所 Tel.0478-54-1291 Fax.0478-54-5996

夜間・休日は転送されます、必ず5回以上コールしてください

(参考) BVDバルク乳検査の流れ

① 検査希望調査

農場から所属する生乳出荷組合へ希望の有無を連絡



生乳出荷組合が希望農場を取りまとめて家畜保健衛生所へ申請

② バルク乳検査（無料）：令和6年8月頃予定

※バルク乳の採材方法・日時は出荷先クーラーステーションにより異なりますので、
詳細が決まり次第お知らせします。

バルク乳陽性



③ 清浄性確認検査

採血・耳片採取による全頭検査（無料）

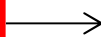
陽性牛



3週間以上の間隔をあけ再検査



2回目 陽性



PI牛

PI牛が確認された場合、以下の清浄化計画を実施

④ PI牛の自主的とう汰（※と畜場・市場へのお荷×）

⑤ 全飼養牛のPI牛確認検査

→陽性牛は3週間以上間隔あけ、再度検査を行いPI牛の判定

⑥ 新生子牛の追跡検査（10か月間）

《参考様式》生乳出荷組合へ提出

バルク乳検査希望調査

氏名 _____

・ 希 望 す る ・ 希 望 し な い

バルク乳を用いたBVD検査を希望する場合は下記の項目に記入してください。

記 入 欄

⇒農 場 名

⇒農場住所

⇒出 荷 先

クーラーステーション

⇒連絡先

TEL :

FAX :